

# 大分県

中津城

中津

宇佐

豊後高田

国東

日田

角牟礼城

鱒湖

別府地獄めぐり

大分府内城址

由

臼杵城跡

津久見

鞠智城跡

阿蘇

大分県

豊後大野

岡城址

佐伯城跡

阿蘇くじゅう  
国立公園

熊本県

宮崎県

# 94 大分府内城

--- 100名城 ---  
2022.11.24



別名: 大分城、荷揚城、白雉城

おいたじょう、にあげじょう、はくちじょう

府内城は名軍師・竹中重治の従弟にあたる竹中重利の居城として知られています。

遺構としては、本丸跡に人質橋(二重橋)と宗門橋(平橋)が現存。現在は、3棟の二重橋と大手門、土塀、廊下橋が復元されています。

全部で6棟の橋と廊下橋・大手門橋が復元現存



大分城址公園とはいいながら、園内のほとんどを駐車スペース(下記グーグルマップ)に使われており、何とも殺伐とした光景(駐車場としての整備も中途半端)にかみえませんでした。残念!



Digital Data 2D城郭データ(画像)

## 一口メモ~ 櫓(やぐら)について

- 櫓の基本用語としては3つくらいです。因みに矢倉・矢蔵(矢の保管庫)ではありません。
- ・隅櫓(すみやぐら) --- 石垣の隅に建っているから隅櫓・・・まんまです
  - ・多門櫓(たもんやぐら/多間櫓とも) --- 石垣の縁に建っている、長屋のような形の櫓
  - ・渡櫓(わたりやぐら) --- 櫓どうしをつなぐように建てられた、廊下タイプのもの



廊下橋

# 95 岡城

--- 100名城 ---

2023.01.18



別名：臥牛城・豊後竹田城

岡城の築かれた天神山(標高325m・比高95m)、城域は、東西2,500m、南北362m、総面積は23万4千m<sup>2</sup>に及んでいます。伝承では、1185年に緒方惟義が源頼朝に追われた源義経を迎えるために築城したことが始まりであるといえます。

「荒城の月」作曲者の瀧廉太郎は、幼少期を竹田で過ごしており、この岡城にて曲のイメージを得たといわれています。城址には廉太郎の銅像が建てられています。尚、歌詞については先に紹介しました土井晩翠の歌碑が九戸城跡(No.104)にあります。



FB - 149

広大さに圧倒されました。この跡地を歩いているとなんとなく[···]という言葉が浮かんできます。またひしひしと感じます。

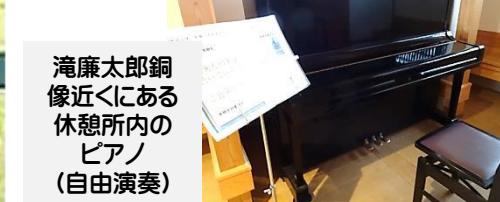
跡地奥にある瀧廉太郎像の前になると、遠くメロティ舗装からの旋律が山々にこだましてより異常さを感じました。



登城口



滝廉太郎銅像



滝廉太郎銅像近くにある休憩所内のピアノ(自由演奏)



大手門跡

# 191 中津城

--- 続100名城 ---  
2022.11.24



別名: 丸山城、人家城、扇城、小犬丸城  
まるやまじょう、じんかじょう、せんじょう、こいぬまるじょう

【大分名物・中津からあげ】は全国的にも「からあげの聖地」として有名なので是非とも買ってみようと、中津城を見学後JR中津駅前商店街に行ったのですが、残念ながら朝11時前なのにアーケード内はシャッター通りみたいで人も歩いていません。残念ながらご時世ですかねー

中津城は黒田官兵衛(孝高)によって築かれた城で、完成させたのは細川忠興といわれます。今治城や高松城と並ぶ日本三大水城のひとつに数えられています。

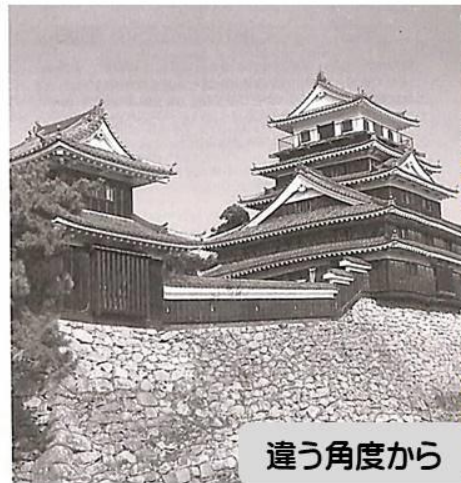


閑散とした駅前商店街



河口側から見た模擬天守と復興櫓

ガイドブックより



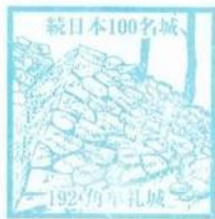
違う角度から

# 192 角牟礼城

つのむれじょう

---続 100名城 ---

2022.11.25



別名：角埋城 (つのむれじょう)

角牟礼城は角埋山(576m)にあった山城。1278-1288に森朝通により築かれたとされる。国の史跡。

1586年島津義弘による豊後侵攻の折には、島津軍の攻撃にも落城することはなく、難攻不落の城として名を高めた。

1601年来島長親が入封し森藩が立藩されると、来島氏が**城主の格式**を有さなかったため角牟礼城は廃城とされ、山麓に陣屋が置かれた。



## 久留島陣屋のその後

「日本城郭大系」によると、久留島氏は村上水軍の後裔で、関ヶ原合戦では西軍に属したので、海の活躍の場を奪われて山深い玖珠に封じ込まれたとありました。

## 穴太積みの石垣

角埋山の頂上から本丸、二ノ丸、三ノ丸の順に配置され、伝搦手門跡には穴太積み(あのうづみ)とも呼ばれる野面積みの石垣が残っており、これは、安土城にも見られる近世の山城の特徴であるという。

因みに、穴太積みというと昨年度直木賞を受賞した今村翔吾の「塞王の盾」を思い浮かべます。近江の石積み職人(穴太衆)の技術が雲海のお城竹田城はじめ九州の幾つものお城の石垣を築いていたことは驚きです。

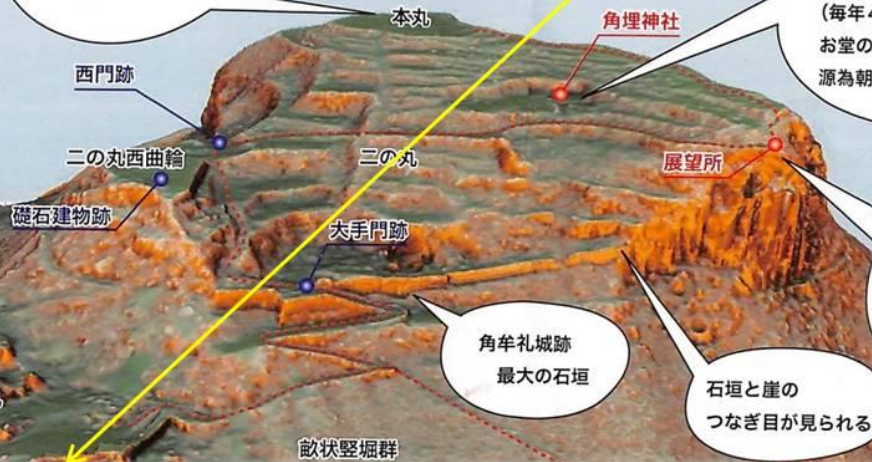


指定史跡 角牟礼城跡

大分県玖珠町

## 角牟礼城跡

石垣には隅櫓。  
豊前側がよく見える。



角埋不動尊の祭りの木ウソは一見の価値あり。  
(毎年4月第一日曜日)  
お堂の中の不動明王は右足の指が6本。  
源為朝を象ったためだとか。

玖珠盆地が一望できる。  
東には大岩扇山、小岩扇山、宝山。  
南には伐株山、万年山。  
すべてメサの山。

石垣と崖の  
つなぎ目が見られる

角牟礼城跡  
最大の石垣

## 城主の格式

江戸時代、大名の格式で、**国主、準国主、城主、城主代、無城**の5段階あります。

**国主**： 国(薩摩・肥後など)一国以上の領地を与えられた大名、etc

**準国主**： 半国以上の領地を与えられた大名、叙任は国主と同じ、

**城主**： 国元に城がある大名、江戸時代初めに一国一城の令で壊されなかった城をそのまま使用できた運がよい大名。領地は半国以下で有るため国主、準国主とは区別されている。

**城主格(準城主・城主代)**

： 一国一城の令で城が造れないため、上記の城の定義を擦り抜けた陣屋(事実上の城)を作り  
方政庁とした大名、城主と同じ扱いを受けた大名

**陣屋(無城)**： 陣屋住まいの小大名、〇〇新田藩など、大名から分家を許された大名に多い。

城の定義——「石垣の上に堀と櫓を有しているもの」→逆に天守閣が有ることは城であることの定義にはならない。

# 193 臼杵城

うすきじよ

--- 続100名城 ---

2022.11.25



別名： 丹生島城、亀城  
にうしまじょう、 きじょう



臼杵城跡は大分県の史跡。  
戦国時代、大友宗麟が臼杵湾に浮かぶ丹生島に築いた海城（丹生島城）で、  
当時は断崖絶壁の島で、四方を海に囲まれた珍しい城だったそうです。  
※丹生島の「丹生」とは「金属鉱石の産出する島」という意味



天守台跡 元は高さ7m超であったが公園整備時に削られた

## 臼杵城跡



大手門(復元 櫓門)



本丸跡

# 194 佐伯城

さいき じょう

--- 続100名城 ---  
2022.11.25



別名

鶴屋城 (つるやじょう)

鶴ヶ城 (つるがじょう)

塩屋城 (しおやじょう)

1606年に築かれ、八幡山山頂(標高144m)主郭部の石垣と麓にある三の丸跡の石垣、建物は三の丸櫓門が現存します。佐伯藩の藩庁が置られました。「さえき」と読むのは誤りで「さいき」と読みます。国の史跡指定。また佐伯城は国木田独歩の「春の鳥」の舞台にもなった城です。



鶴屋城-ジオラマ

三ノ丸御殿



三ノ丸御殿の巨大櫓門



鶴屋城(山城)鳥瞰図  
豊後佐伯城 別名 鶴城・鶴谷城



城山(佐伯城・鶴屋城)

散策マップイラスト



丸みを帯びた本丸石垣

(沖縄グスクのような絶妙なカービング石垣)

山上の在りし日の姿を描いた「鶴屋城(山城)鳥瞰図」

佐伯市観光協会